

テクノロジー・ショーケース2020開催結果報告書

R2.1.30 つくばサイエンス・アカデミー

- 1 開催期日 令和2年1月24日(金) 9時30分～19時45分
- 2 会場 つくば国際会議場
- 3 参加者数 561名
- 4 内容

- (1)ポスター発表 108件 (一般 103件、つくば発注目研究 5件)
- (2)企画展示 2件 (つくば市、茨城県)
- (3)共催機関広報展示 (17機関)
- (4)弁理士会関東会による「発明無料相談コーナー」の設置
- (5)特別シンポジウム

メインテーマ 「エネルギー革命～水素社会」

■講演

講師 物質・材料研究機構招聘研究員、日本大学特任教授、
水素エネルギー協会会長 西宮 伸幸氏

「水素先進国日本の課題」

物質・材料研究機構磁気冷凍システムグループリーダー 神谷 宏治氏

「磁気冷凍法による水素液化」

川崎重工業(株)主幹研究員 神谷 祥二氏

「水素社会実現に向けた大型液体水素システム」

■パネル討論

「エネルギー革命～水素社会」をテーマに、3名の講演者に江崎玲於奈会長が加わってパネル討論を行った。

司会：物質・材料研究機構理事 小出 康夫氏

(6)プレゼンテーション賞の表彰

発表内容が優れていると認められた発表者を表彰し、江崎会長から賞状が授与された。

5 結果

- ・発表件数は昨年より16件少ない108件。分野別に見ると、物質材料(24件)、土木(11件)、機械・エンジニアリング(9件)、ナノテクノロジー(8件)、地球・宇宙(8件)など16分野であった。
- ・発表内容については、「自分の視野を広げる有意義な機会となった。」「様々な分野の先進的な研究に触れることができ刺激になった。」「大学(院)生だけでなく企業の研究も聞くことができ奥深く、現代社会の課題を解決するための策を沢山聞くことができたので強く印象的だった。」、来場の効果としては、「必要な情報、人脈を得た。」「ビジネスを進める具体的な話をし、ヒントをつかんだ」と回答された方が多かった。
- ・講演についても、水素は現在注目されている分野であることから、「大局的見地から水素社会についての過去、現在、未来を展望していただいた」といった感想も寄せられ、総体的に異分野交流による知の触発、研究活動の活性化を図ることが出来た。